令和7年度あけぼのの森保育園自己評価表

A　たいへんよい
B　よい
C　一部検討を要する
D　改善を要する

令和8年4月公表

項目		内　　容	評価 A	評価 B	評価 C	評価 D	備考
保育目標について		（1）保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			・理念に対して、具体的かつ段階的な目標を設定、職員会議・フロアー会議で共通認識を行った。
		（2）目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
		（3）目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○				
保育について		（1）指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			・子どもの姿や興味関心、保護者とのコミュニケーションの中で得られた情報をもとに、環境調整、教具教材の準備を行った。また、年度末に今年度の振り返りを行い、今後の活動内容についても検討することができた。
		（2）保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○			
		（3）環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○				
		（4）素材・用具を適切に活用しているか。	○				
		（5）評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日・時・程		（1）１日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。		○			・週案で活動の共有を行い、必要に応じて活動の変更を行い子どもの姿に応じて活動を提案することができた
行事について		（1）行事の種類や実施回数は適切か。		○			・子どもの主体性を尊重した中で、保育からの継続性を重視して行事を行った。反省として、来年度は計画的に活動を考えて行く。 ・行事ごとに保護者アンケートを実施。反省を活かしながら実施した。 ・保護者参加の行事は土曜日に開催し、多くの方が参加できた。
		（2）行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
		（3）乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○			
		（4）計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
		（5）保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			
経営・組織	分掌・体制	（1）能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			・職員の職務分掌を明確にすることで、効率よくサポートを行いながら分担し業務を遂行することができた。 ・行事等の準備も担当だけが準備するのではなく、職員全員で分担して取り組むことができた。 ・保育については、「子どもにとって」を中心に考えて動く姿が見られたが、声の大きさや動きなど細かい点で保育の質をあげていく必要があると感じた。 ・各会議を行う際は、会議の目的を明確にし、参加出来ない先生には情報共有を行うことで、職員間の中で周知を確実に行うことができた。
		（2）職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		（3）職員の配置は適材・適所か。		○			
		（4）係や仕事の分担は適切か。		○			
	運営	（1）各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			
		（2）職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		（3）打合せ回数、時間、内容は適切か。			○		
	クラス経	（1）０-１歳と２-５歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。		○			
		（2）異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		（3）チーム保育を適切に行っているか。		○			
	保健・安全指	（1）０-１歳と２-５歳の保健対策は適切に行われているか	○				
		（2）避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。		○			
		（3）健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○			
		（4）乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。	○				
	情報	（5）乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				
研修会・講習会について		（1）各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○			・互見研修や新採用職員研修、リーダー研修、中堅研修等姉妹園と様々な研修を行うことで、園の知見を広げることができた。 ・また、キャリアップ研修を1人1つ以上受けてもらうことができた。
		（2）各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。		○			
		（3）各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○			
施設・設備		（1）施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				・安全委員会を中心に毎月の安全点検を行い、日々施設安全チェックリストを作成し活用している。 ・会議で危険個所等の情報を共有し、物理的に対処できる部分は直ちに修繕又は改修した。
		（2）遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
		（3）不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○			
		（4）掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納・経理		（1）各種会計を適正かつ適切に処理しているか。		○			本部の確認や外部監査を受け、適切に処理できている。
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	（1）他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○			・姉妹園との園児交流を引き続き実施。 ・法人内での保育士の合同研修などを通して、法人が目指す保育への理解度を深めた。 ・定例公開日を設け、保護者の方が園でのこどもの様子を見られる日を作った。 ・地域交流に関しては、地域の方の土地を借りて協力農園を行う計画が次年度にはある。 それ以外の交流はできていないため、各行事ごとに地域の方が参加できる機会を作為できないか検討していく。 ・育児講座・保育参加を年3回実施した。 ・保護者面談も1家庭1回以上実施し、必要家庭は2回面談を実施した。 ・姉妹園である児童発達支援事業所と連携を図ることで、専門機関へ繋げやすくなり情報を共有することができた。 ・毎月、園だよりやフロアだより等を発行。
		（2）他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わう音ができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○		
		（3）保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対しての理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○			
		（4）参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○			
		（5）日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。	○				
	地域との子	（1）保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。				○	
		（2）幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。	○				
		（3）地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。				○	
	育て支援の	（1）地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。			○		
		（2）「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○		
		（3）職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		（4）医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	情報の発信	（1）保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○				
		（2）行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか				○	
	部評	（1）第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	・第三者評価については令和9年度に実施予定
		（2）第三者委員制度を活用しているか。				○	